




今年の梅雨期は7月下旬まで続くとのこと、近年では自然の脅威を実感させられることが多く、改めて自然災害について備えて行きましょう。

	デイサービスでの対応	注意して頂きたいこと
地震 	<p>いつどのような地震が発生するか予測が出来るものではなく、フロアで過ごしている時・送迎中・入浴中など様々な場面で地震に遭遇することを想定して、身の守ることが出来るようにと考えています。揺れが治まってから情報収集を行い、地域の被災状況に応じて、出来る限り安全にご家族等への引き渡しを行うことを予定しております。（職員は、引き渡し完了後、入所施設や福祉避難所の支援活動に向かうようになります。）</p>	<p>まずは身を守るために姿勢を低くして、物につかまるなど転倒を防ぐようにしましょう。また、落下物によるケガを防ぐためテーブルの下に身を隠す、座布団などで頭部を保護するようにしましょう。火の元の確認も大切です。</p>
風水害 	<p>自然の力は強く、予想を上回る被害が出る可能性があります。ハザードマップでデイサービスが浸水や土砂災害の災害想定区域になっていないことを確認していますが、気象情報から送迎の危険性など考慮して営業中止や時間短縮をさせて頂く事があります。その際には出来る限り早めのご連絡を行うようにしますが、中止となった時の過ごし方、短縮時の対応を検討頂いておくなどご協力をお願い致します。</p>	<p>高齢者や障害のある方は警戒レベル3で避難開始とされています。避難とは避難所へ行くことではなく、安全な場所で過ごせる準備をすることとされており、危険場所の確認や停電や断水への備えを普段から行っておくことが大切です。</p>
火災 	<p>デイサービスでは消防計画を作成し、火災が発生しないようにするとともに、万が一火災が発生した時のために、利用者皆様にもご協力を頂き避難誘導訓練を行っています。</p>	<p>家庭では電気コンセント・ほこり・湿気が原因となるトラッキング現象による火災もありますのでお部屋の整理整頓も火災予防につながります。</p>

熱中症対策について

熱中症とはどのような症状でしょうか？

熱中症とは、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。症状としては、体温は上がり、血圧は下がり、めまい・立ちくらみ・手足のしびれなどがあり「いつもと様子が違う」と感じたら危険信号と言われています。

また、身体の中で水分は筋肉に蓄えられています。筋肉が少ないと水分を蓄えられる量がどうしても減ってしまいますので、高齢者や小児、障害者に症状が出やすいと言われています。



熱中症予防ポイント

【暑さを避ける】  <p>※室内の温度は28度を超えないように！</p>	【こまめな水分補給】  <p>※医師から塩分や糖分制限されている人はかかりつけ医に相談を！</p>
【暑さに勝つ身体づくり】  <p>※汗をかく習慣を！</p>	【ぐっすり眠る】  <p>※室温を調節して快適に眠れる環境作りを！</p>